

かんきょうきょういくふくどくほん
森林環境教育副読本

もりたび



発行：高知県

森と生きもの

森や里山ではいろいろな木が育ち、生きものがたくさんすんでいます。それはどうしてでしょうか？ マモルンと一緒に森を歩いてみると、その答えが見つかりそうです。

森は生きものたちの楽園

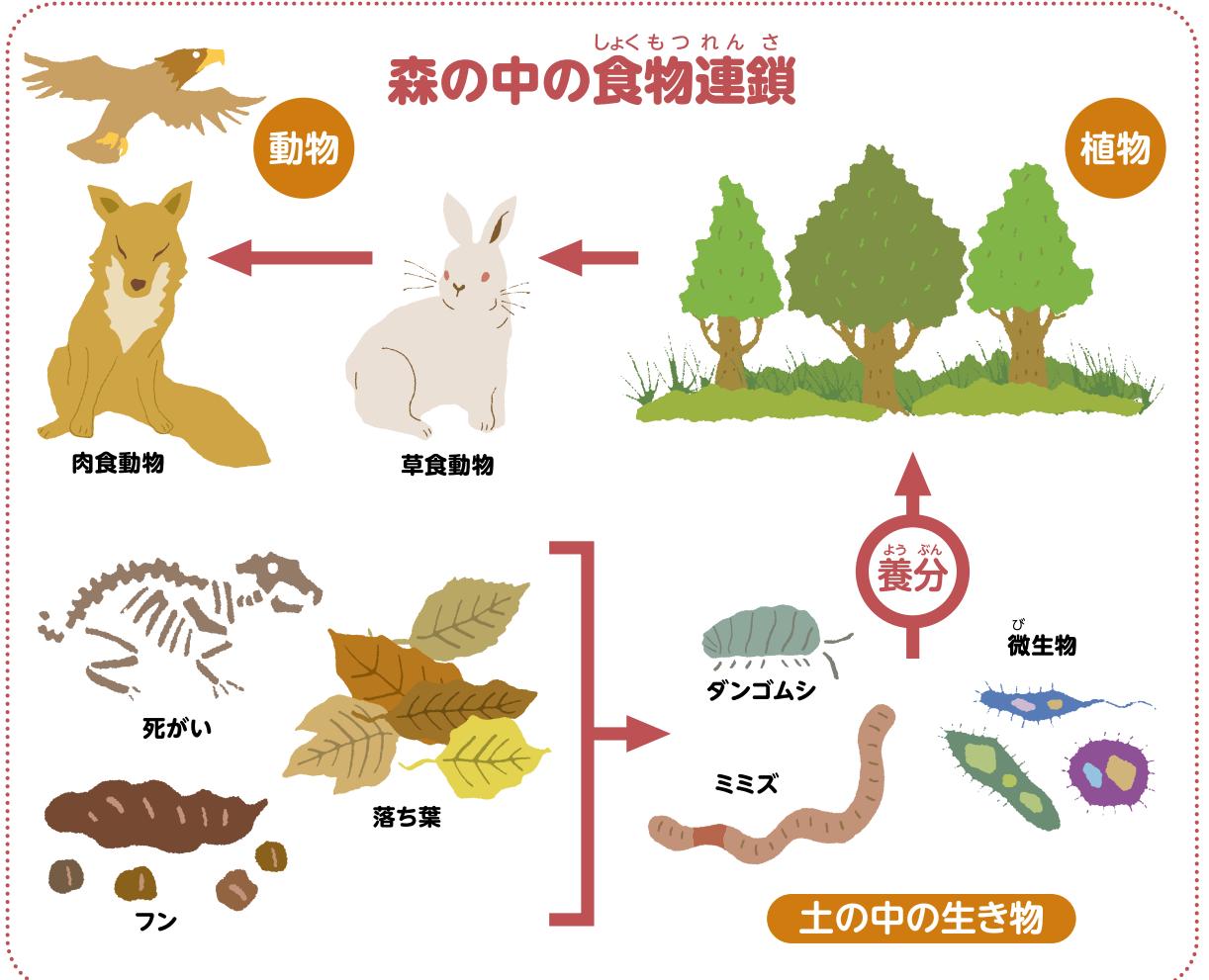
森にすむ生きものといえど、ワマやシカ、ウサギやリスなどが頭に浮かんできます。そして、ウグイスなどの小鳥、カブトムシなどの昆虫、ヘビなどの爬虫類、カエルなどの両生類もいます。土の中にはミミズや微生物もいます。もちろん草や花、木などの植物も生きています。

森にすむあらゆる生きものは、森という環境を舞台にしてつながっています。そして、森も生きものがいるからこそ、その環境を維持できたり、再生をくりかえしたりすることができるのです。



森と動物のバランスが大切です。

植物の葉はチョウやガの幼虫や、ウサギなどの草食動物が食べます。そのチョウやガは、小鳥やネズミなど小さな肉食動物が食べ、さらにそれをヘビやイタチ、キツネ…と大きな肉食動物が食べて生きています。そして、昆虫や動物は死んだあと、地面や土の中にすみ、ミミズや微生物などによって植物が育つ栄養になります。食物連鎖はバランスが大切です。バランスがくずれると元気がない森になります。食物連鎖の仕組みは大切なことです。



●学習指導要領とのリンク

- 【理科】[全学年共通] 生物、天気、川、土地などの指導に当たっては、野外に出掛け、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うようにする。
- 【生活】[第1・2学年] 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
- 【道徳】[第3・4学年] 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
- 【第5・6学年】主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

森のはたりき

元気な森や里山は、雨水をたくわえる「緑のダム」をはじめ、「二酸化炭素の吸収などたくさんの働きを持っています。マモルンと一緒に森を歩けば、森と環境の素敵なつながりが見えてきますよ。

森と水をつなぐ深いきずな

地球の表面は70%が水でおおわれています。南極や北極の氷、川や海の水、空気中の水分など、さまざま形で存在する水は、太陽の熱で海や陸から蒸発し、大気中で雲をつくり、やがて雨や雪となつて地表に降ってきます。その水は雨、川や海に流れ込み、空と陸、海とのあいだをバランスよく行つたり来たりしています。

そんななか、地球上の水の量の循環に役立つているのが森です。では、具体的に森の役割を見てみましょう。

元気な森が育つためには、たくさんの水が必要なんだ。ボクたちが住んでいる日本はよく雨が降るところなので、ずっと昔から森が育ってきたよ。木の近くにある森や里山にも、とても大きな木があるんじゃないかな。でもね、森は自分が大きくなるために水をつかっていなければいけない、人間がくらしていくために、とても大事なはたらきをしているんだ。

そうなんだよ。土の中で木の根が張っていて、砂災害から守ってくれるんだ。

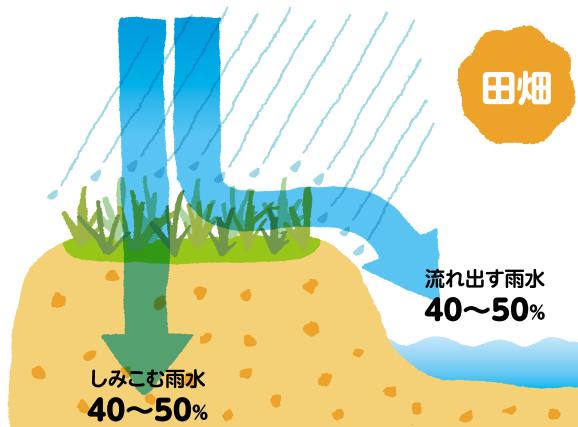
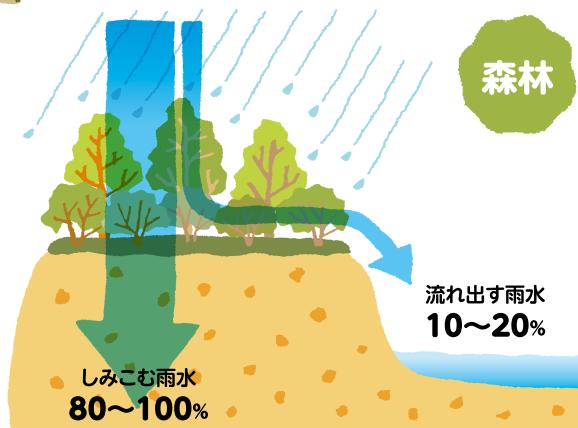
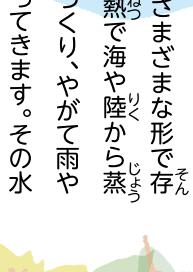
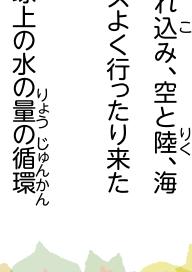
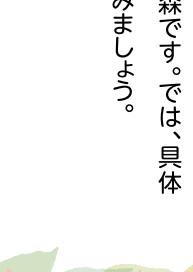
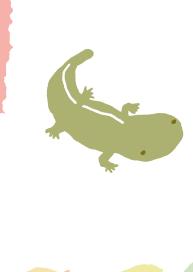
おじいちゃんが元気な森は大丈夫だって。

雨ばかりだと土砂くずれしないのかな。

元気な森は大丈夫だって。

土砂くずれ

守ってくれるんだ。



出典:W.Mマーシュ、1998「暮らしと森林」(一社)全国林業改良普及協会



●学習指導要領とのリンク

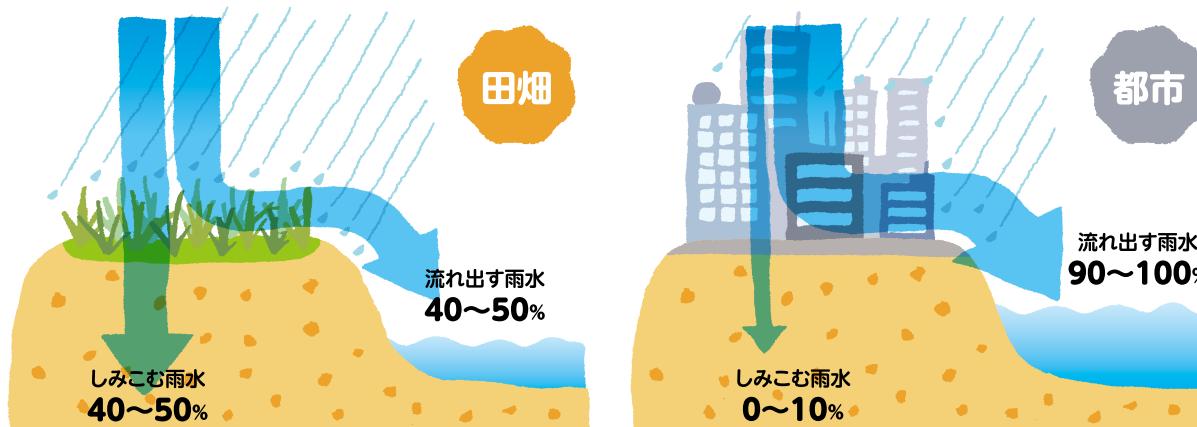
【理科】 [全学年共通] 生物、天気、川、土地などの指導に当たっては、野外に出掛け、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うようにする。

【社会】 [第5学年] わが国の国土の自然環境と国民生活との関連について、地図帳や各種の資料で調べ、森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現する。

森は見えないけれど森は大きなダムなのです。

森には水源かん養といつて、雨水をたくさんいる働きがあります。雨水は、地面に染みこみ、ふかふかした土の中をゆっくりと移動していき、少しづつ川へ流れこんでいます。だから雨が降っていない時でも、森がたくさん水のおかげで川の水がなくなるないです。

森がないところでは、雨が降ると、雨水は勢いよく地表を流れ、川の水は一気に増えます。逆にしばらく雨が降らなければ、川の水は減ったり、なくなったりします。元気な森はダムの代わりに川の水量を調節するチカラを持っているのです。



水源かん養とは…

森が雨水を吸収して貯め、その貯めた水を調節しながら河川に流すことをいいます。



森は生きているだけで環境にやさしいのです。

空気中の二酸化炭素が増えると、地球温暖化がすすんで、環境に影響が出ます。木などの植物は成長するために光合成を行い、空気中の二酸化炭素を吸収して、体の中に入っています。だから、森は元気に成長するだけで環境にやさしいのです。



森のじじと 見学



山にたくさん生えている木。木が元気に育つためには、人による手入れも大切です。

どんな手入れをしていいのでしょう。さあ、マモルンと一緒に山のじじと見学に出発です。

森には2つの種類があるんだ。

森には、自然のチカラが長い年月をかけてつくりあげた「自然林」と、人が木を植えて育てた「人工林」があります。

日本の面積のうち、およそ3分の2が森です。これは世界でも、トップクラスの数字。1億人以上の人人が住んでいて、工業化が進んでいます。しかし多くの森が残っているのはなぜでしょうか。それは、人びとが森を大切に育てながら、生活に利用してきたからなのです。

それでは、マモルンといっしょに、森を育て木材を産み出している、山のじじとを少しだけ見に行きましょう。



元気な山は木を伐ることから。

木があるてつど育つと、間ばつをします。元気な森にするために、「これは大切な木」とです。木と木の間がせまいと、ひょろひょろした弱い木に育ちます。だから、ときどき弱い木などを伐って、間引いていくのです。すると、日光が地面にとどいて、山の生き物や草花も元気になります。伐らざる残した木も、枝や根っこをひろげながら、すくすくと育つてもらいます。



苗を植える場所をつくります。

人工の森をつくることは木の苗を植えることから始まります。まずは、苗が元気に育つていくように、植える場所をきれいにします。

植えた苗が収かくする大きさになるまでに、50年くらいかかります。小学6年生だった子が、おじいさんやおばあさんになつたことがあります。やつと収かくされるのです。



夏のあいだのレスキュー隊

夏になると、日光をあびようと、木の苗や草がぐんぐん伸びています。苗のまわりの草刈りは、夏のあいだの大切な「じ」とのひとつで、苗が大きく育つまで、5年から10年くらいつづけます。しかも、暑い夏にヘルメットをかぶり、長そで、長ズボンの服を着ておこなう、たいへんなじとなのです。



●学習指導要領とのリンク

【理科】 [全学年共通] 生物、天気、川、土地などの指導に当たっては、野外に出掛け、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うようにする。

【社会】 [第4学年] 県の様子について、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめたりして、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現する。

[第5学年] わが国の国土の自然環境と国民生活との関連について、地図帳や各種の資料で調べ、森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現する。

【生活】 [第1・2学年] 身近な自然を利用して、身近にある物を使ったり遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとする。

山をまもる道具

山のじごとをするひとが身につけている道具。どんなときにはどんな道具を使うのでしょうか。さあ、マモルンと一緒に考えてみましょう。

山の道具ってどんなものがあるの？

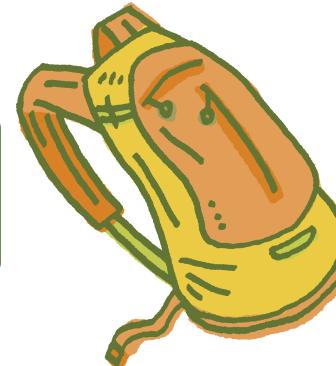
山のじごとには、木を伐り倒したり、苗のまわりの草を刈ったりといろいろな作業があります。そして、木を伐き倒すときには鎌を使つように、その作業に向いている道具があります。山へいったん入ると、しごとが終わるまで戻れないのではなりません。また、山の中ではキケンなことがたくさんあります。



山にはたくさんの生き物がいて、そのなかには強い毒をもつているズズメバチやマムシもいるんだ。だから、一年中はだを出さないような服を着て、毒をもつた生き物から身をまもることが大切なんだよ。

リュックサック

チェーンソーの燃料や小さな工具、それにお弁当や飲み水などを入れます。背負うことで両手が自由に使えます。



ヘルメット

枝や飛んでくるきりクズから大切な頭をまるために、山にいるあいだ、ずっとかぶっています。



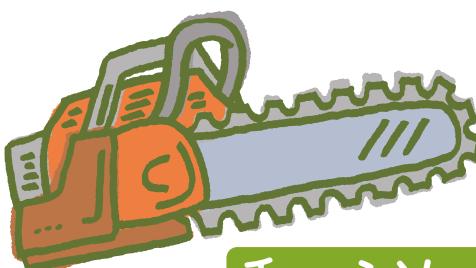
地下足袋

長靴と同じように、スパイクつきのものがあります。足首にぴったりつけることで踏ん張りがきくため、足場のわるい高いところでも安全に作業することができます。



チェーンソー

山のしごとの代表的な道具で、エンジンのパワーで、大きな木でも楽に早く切れます。とても便利ですが、ケガをしないように、前もつて使い方を学ぶことが大切です。



もあるので、安全にじごとができるよう道具や服を装備しています。いろいろな道具たちのおかげで、はたらく人と山は守られています。



呼子

木を伐り倒すときなどに吹いて周りの人々に注意するよう知らせます。安全にしごとをするための大重要な道具です。



鉈

主に草刈りで活躍します。柄が長い下刈り鉈は、立ったまま草を刈ることができます。



鋸

木の枝を切り落とすときなどに使います。特に鉈では切りにくい太い枝や幹は鋸で切れます。



脚絆

地下足袋の上につけて、砂や石が入ってくるのを防いだり、足の疲れを少なくしたりします。

とても丈夫につくられているため、落ちてきたものが靴に当たってもケガを防いでくれます。裏にすべり止めのついているものもあります。

長靴

●学習指導要領とのリンク

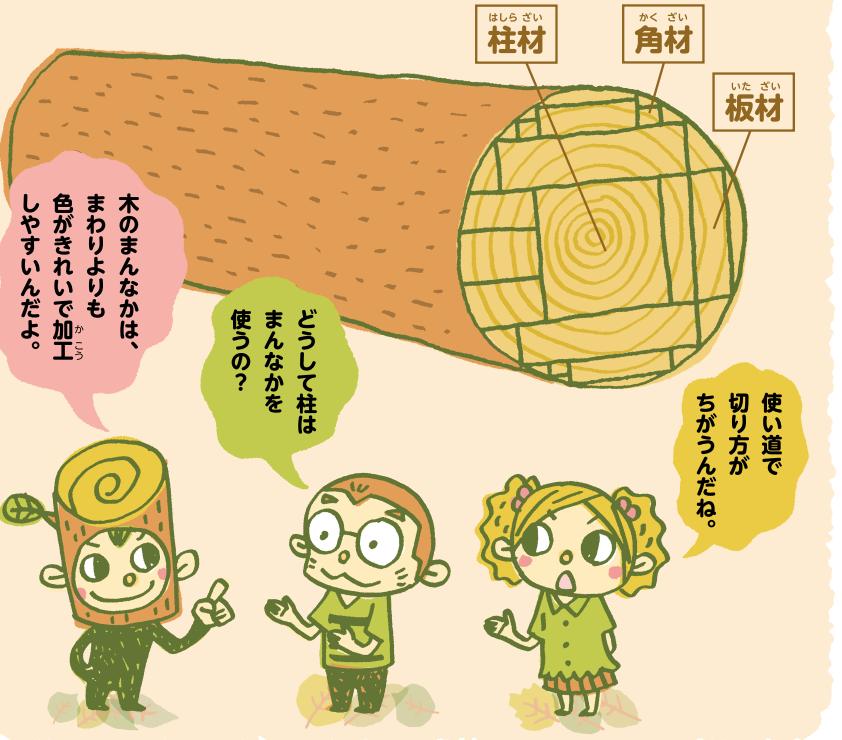
【社会】[第3・4学年]県の様子について、資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特色を考えるようにする。

丸太をぶんかじしてみよう

山で伐られた木は、製材工場では、丸太をさまざまな大きさに加工しています。製材の仕事のひみつをマモルンと一緒に探ってみましょう。

丸太をぶんかじする仕事が製材です。

まず丸太の中心部分から、柱など建物の骨組みになる「構造材」を取ります。そのまわりの部分からは、床やかべの材料となる「板材」や「角材」を取ります。この丸太をどう切るか決める「木取り」といいます。「木取り」によって材木の価値がかかるので、とても大切な仕事です。



切り方で木目が変わります。

年輪の中心に向かって切ると、まつすぐな木目が出ます。これを「柾目」と呼びます。年輪の中心からずらして切れば、「板目」と呼ばれ、年輪が山形の木目が出ます。

丸太のすべてが役に立ちます。

枝や丸太の皮を燃やした熱を使って木を乾燥させたり、小さな破片（木質チップ）を紙の原料にしたり、けずりくずを燃料として使うなど、丸太はすべてを捨てることなく、いろいろなところで利用されています。



●学習指導要領とのリンク

【社会】[第4学年]県の様子について、資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特色を考えるようとする。

【第5学年】わが国の国土の自然環境と国民生活との関連について、地図帳や各種の資料で調べ、森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現する。

木の特ちょうホート

森を歩くと、針葉樹や広葉樹のいろいろな種類の木があります。それどころか、特ちょうがあるのか、マモルンと一緒に見てみましょう。

木材としての良いところがそれぞれにあります。

針葉樹は日光をたくさん浴びようと、上にまっすぐ伸びてきます。そのため、まっすぐで長い木材を必要とする家の骨組みに向いています。

針葉樹 (スギ、マツ、ヒノキなど)

【特ちょう】

- 葉っぱが針のようにつがっている
- ほとんど一年中、緑の葉っぱがついている
- 松ぼっくりのような種をつける(裸子植物)
- 年輪がはっきりしている
- ほとんどまっすぐな木目
- 軽くて柔らかいので加工しやすい



もくざい 木材の使いみち



たてもの ほねぐ しょうじ わくぐ
えんぴつ、建物の骨組み、障子の枠組みなど

みんなに高く、まっすぐ伸びているわ。

ぼくの身長の何倍あるんだろう?



現在、世界中に針葉樹は約540種、広葉樹は約20万種以上もあるんだ。そのうち、日本には約1400種以上の木があるといわれているよ。

こうようじゅ 広葉樹(ケヤキ、カエデ、クスノキなど)

【特ちょう】

- 葉っぱが広くて平らなものが多い
- 秋になると葉っぱが落ちるものがある
- ドングリやくだもののような種をつける(被子植物)
- 年輪がはっきりしていないものがある
- 複雑な木目
- 重くてかたいので、加工しにくいけれど丈夫



●学習指導要領とのリンク

- 【理科】[全学年共通]生物、天気、川、土地などの指導に当たっては、野外に出掛け、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うようにする。
- 【社会】[第4学年]県の様子について、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめたりして、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現する。
- 【第5学年】わが国の国土の自然環境と国民生活との関連について、地図帳や各種の資料で調べ、森林資源の分布や働きなどを着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現する。

木の家の骨組み、 待ちよりを知り

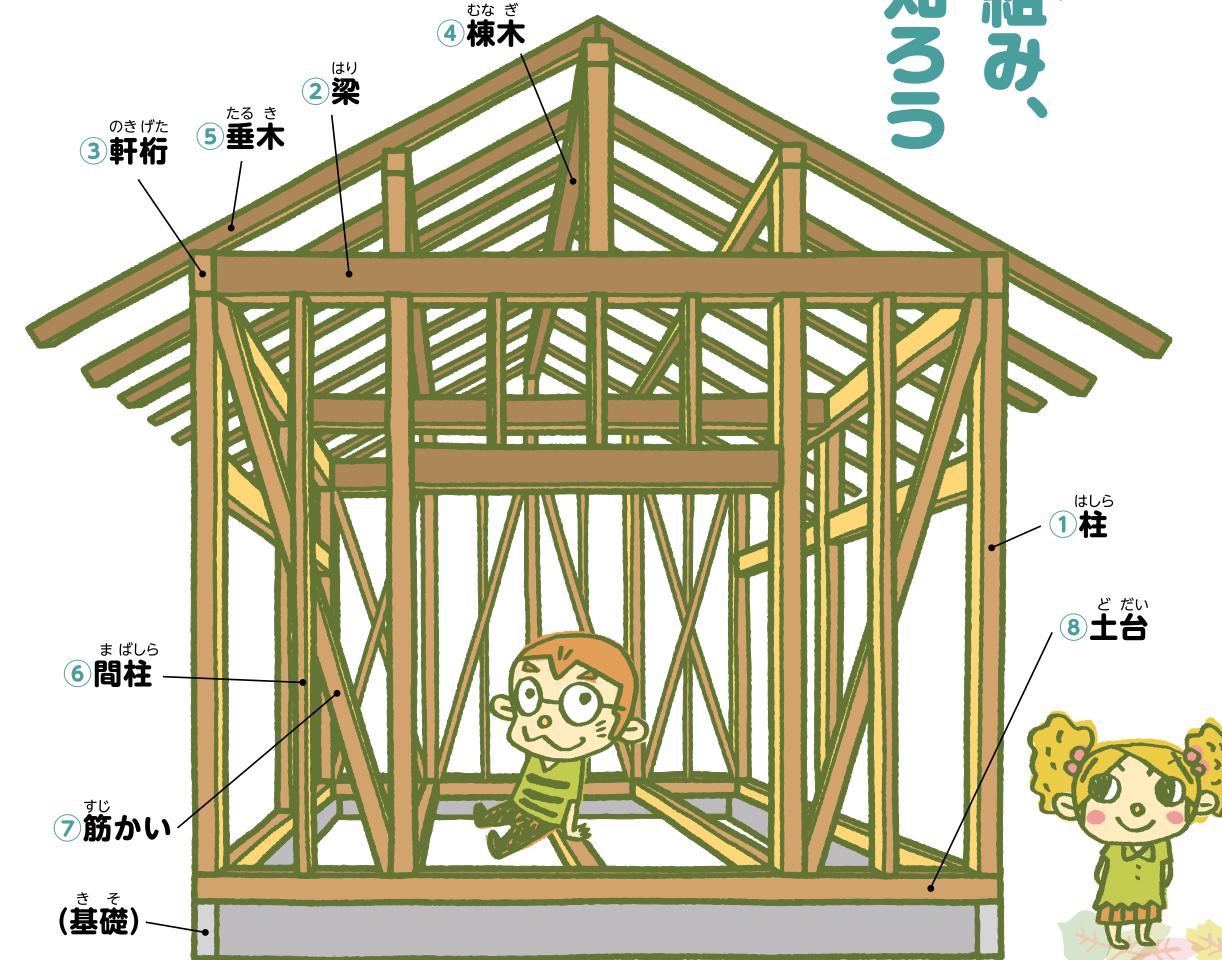
大工さんは木を組み合わせて、じょうぶな家をつくります。その骨組みをマロンといっしょに見てみましょう。

① 柱
土台と梁・軒桁をつなぐようにまっすぐに立たられ、家の重さや力をささえます。

② 梁
上からの重さや力を柱につたえるために、水平に組まれています。

③ 軒桁
垂木をささえ、水平に組まれています。

④ 棟木
上から垂木をささえます。



骨組みの一一番高いところにあります。
かわらをしく板をささえ、やねの形をつべこます。

柱と柱のまん中にまっすぐ立てかべをささえます。

柱と柱の間にななめに入れ横ゆれをおさえます。

柱の重さを受け止め、基礎につたえます。

柱と柱の間に、もののかにも、たくさんあるんだよ。

ここでは紹介した
もののほかにも、
たくさんの部材が
あるんだよ。

家の重さを受け止め、基礎

かわらをしく板をささえ、
やねの形をつべこます。

柱と柱の間に、ののほかにも、
たくさんあるんだよ。

ここでは紹介した
もののほかにも、
たくさんあるんだよ。

木の家の 待ちよ

木の中に入ると、
何かいい気分になるね。

木の家には暮らしを快てきに
する良い所がいっぱい。
それを紹介するね。

木の家中に入ると、
何かいい気分になるね。

木の中に入ると、
何かいい気分になるね。

木の中に入ると、
何かいい気分になるね。

① どんなところが
快てきなの?

① どんなところが
快てきなの?
温度を調整します。

木は、雨の日など空気中の水分が多いときには水分を吸い込み、逆にかわいているときにはたくわえていた水分をはき出したりします。部屋の中の湿度を一定に保つことができることから、木は天然のエアコンともいわれています。

② どんなところが
やさしいの?

木や葉っぱの香りには、フィトンチッドという天然成分がふくまれています。この成分は人の気もちをリラックスさせてくれたり、虫を寄せつけない効果があります。

木や葉っぱの香りには、
フィトンチッドという天然成分がふくまれています。この成分は人の気もちをリラックスさせてくれたり、虫を寄せつけない効果があります。

③ どんなところが
すぐれているの?

木は、冬はあたたかく感じられるのは、このためです。

人にやさしい家です。

古い家の骨組みをいかして壁や床を新しく作り直したり、古い家の大きな柱などを使って、新しい家を建てるなどもできます。

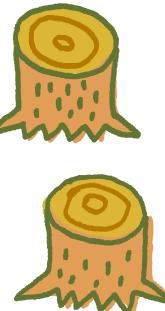
古い家の骨組みをいかして壁や床を新しく作り直したり、古い家の大きな柱などを使って、新しい家を建てるなどもできます。

木は、冬はあたたかく感じられるのは、このためです。

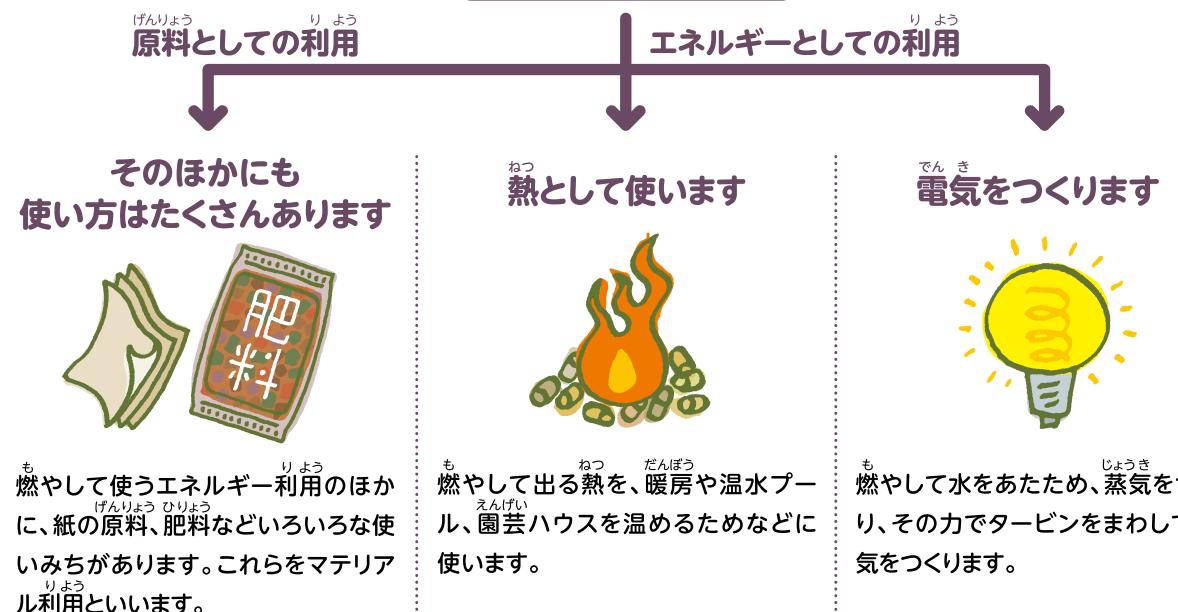
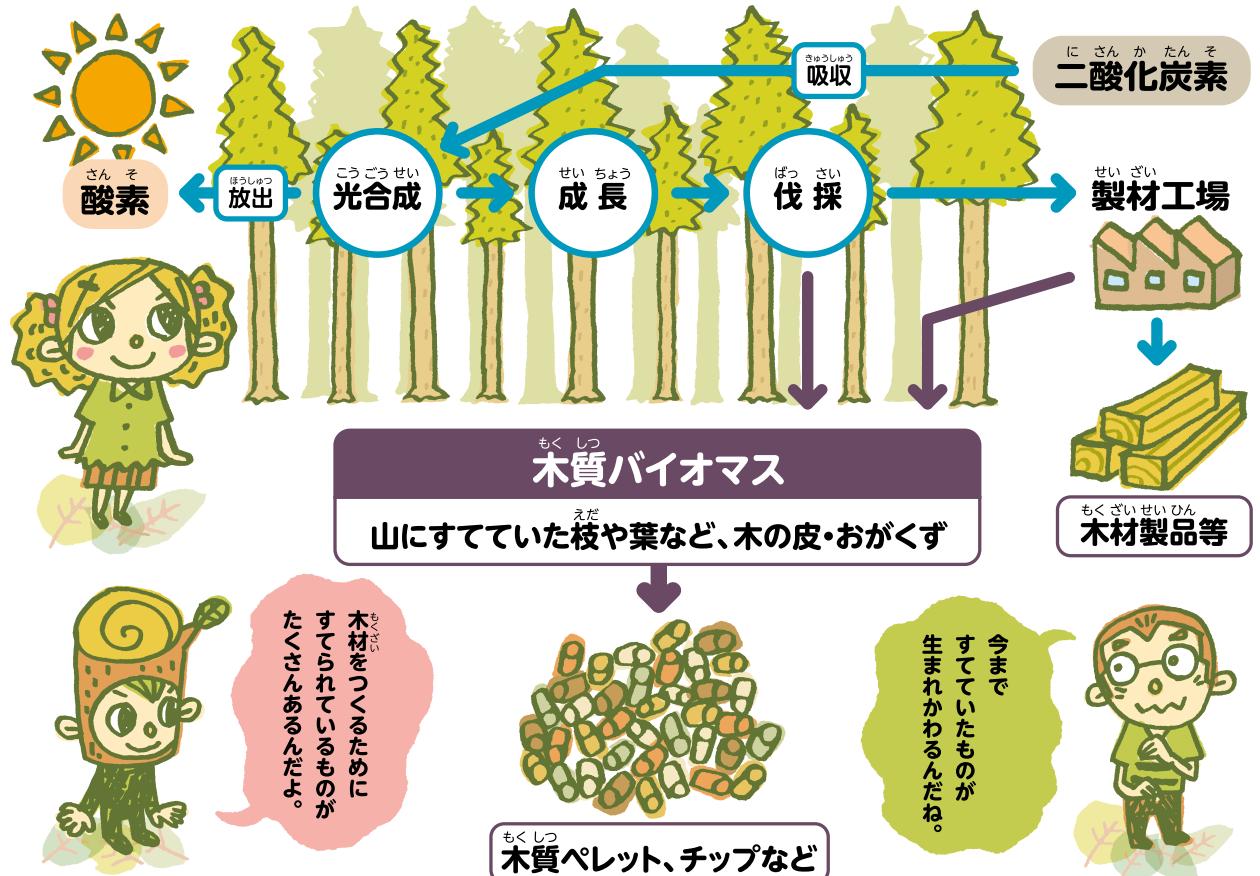
人にやさしい家です。

古い家の骨組みをいかして壁や床を新しく作り直したり、古い家の大きな柱などを使って、新しい家を建てるなどもできます。

木は環境にやさしい エネルギー資源



木がバイオマス資源としてつかわれるまで



●学習指導要領とのリンク

【理科】[全学年共通] 生物、天気、川、土地などの指導に当たっては、野外に出掛け、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うようにする。

【社会】[第5学年] わが国の国土の自然環境と国民生活との関連について、地図帳や各種の資料で調べ、森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現する。

石油・石炭などのエネルギー資源がすぐない日本では、自然エネルギーの利用がはじまっています。高知県内で進められている木質バイオマスの取り組みを、マモロンといっしょに見てみましょう。

木がどうして
エネルギーになるの?

木は石油や石炭と一緒に、燃りやすいことで発電したり、熱を燃料として使うことで空気や水をあたためたりすることができます。

しかも、石油や石炭などと同じがい、木は伐つてもまた植えることで育つ、くりかえし使えるエネルギーのものなのです。



**森の多い高知県だから
木質バイオマスがピッタリ。**

木質バイオマスには、枝や葉、木の皮やおがくず、家をこわしたときの木くずなどもふくまれています。森林率が日本一の高知県では、たまりや、チップとよばれる破片に加工して、木質バイオマスのエネルギー利用に取り組んでいます。

木は二酸化炭素をふやさない
環境にやさしい資源です。

木は二酸化炭素を吸つて、成長しながら体の中に二酸化炭素をためこんでいます。石油や石炭は、燃やすと新たに二酸化炭素を生み出しますが、木は燃やしても今まで吸つた二酸化炭素を空気中にもどすだけなので、環境にやさしいのです。



ほか
他にも、こんな体験ができるよ。

じょう ほう こう りゅう かん
情報交流館
たい けん
で体験できるよ!

木に親しむ



木の実ひろい
(1時間～)
アスレチック遊び
(20分～)

木を活かす

いつでも木工(20分～)※

小学生向けの
キギを打って作るキット
●ミニプランター
●巣箱型貯金箱



小さい子でも作れるよ!

ボンドで作るキット
●かべかけ
●えんぴつたて
●なるこ



日時、参加人数は要相談。関心がある方は、事前にご相談ください。

なお、状況によって、ご希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。※のマークは材料代が必要です。

自然と学びのスポットは他にもあります。



2020年9月発行・森林環境情報誌「もりりん」No.4
では、人と森をつなぐ自然と学びのスポットを紹介
しています。詳細はこちらをご覧ください。

[HP] <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/moririn.html>



イベント・ボランティア活動のご案内

こうち山の日推進事業を活用した山に関するイベントを県内各地で実施して
います。イベント一覧は、高知県森と緑の会のHPでご確認ください。

[HP] <https://www.moritomidori.com/bosyu.htm>



森林保全ボランティア活動の参加者を募集しています。ボランティア活動の一
覧は、森・ヒト・こうち応援ネットのHPまたはtwitterでご確認ください。

[HP] <https://morihiito.jp/> [twitter] <https://twitter.com/morihiitojp>



早めに
お問い合わせ
ください。



もりたび
9

森について、しっかり学べたかな？次は、実際に見て、触れて、体験してみよう！ 森林環境学習プログラムの紹介

高知県には、森林について遊んで学べる施設がたくさんあります。

このページでは、友だちやグループで一緒に参加できるモデルプランを紹介します。

やってみたい人は、お父さんや
お母さんに相談してね。
このページを見せるといいよ！



モデル① 森林散策&自然観察体験

森の中をゆっくり歩いて、いろんな生き物を見つけよう。



甫喜ヶ峰森林公園
で体験できるよ！

木に親しむ



森あそび・森林散策(20分～)
ネイチャーゲーム(1ゲーム 約20分)

木を活かす



木工クラフト(15分～)※

- キーホルダー
- ペン立て
- マグネット
- マイ箸づくり
- 壁掛け
- 小枝で昆虫や動物づくり

スケジュール(1日モデル)

11:00▶甫喜ヶ峰森林公園到着

森林学習展示館で、マップを
もらって森林散策に出発！
いろんなルートがあるので、
スタッフに聞いてみよう

12:00▶展望台到着

太平洋が見えるよ！
昼食を食べて、
のんびりしよう

高知県立甫喜ヶ峰森林公園

森林自然体験や学習の場として整備
された、ユニバーサルデザインの森
林公園。約100haの広大なフィール
ドを活かした四季折々の自然体験が
できます。



【住所】香美市土佐山田町平山
(高知駅から車で約40分)
【TEL】0887-57-9007(FAX兼用)
【利用時間】9:00～16:30【休園日】年末年始
【HP】<https://hokigamine.jp/>

モデル② 森の落とし物拾い&木工クラフト

森には発見がいっぱい！足元をよ～く見てね。(森の落とし物拾い)

自然素材を使って、楽しい工作をしよう。(木工クラフト)



スケジュール(1日モデル)

10:00▶情報交流館到着

森の自然物を拾い出発！
何が見つかるかな？

12:00▶昼食(自由時間)

13:00▶木工クラフト

気軽に工作してみよう！
作りたいキットが選べるよ

高知県立森林研修センター 情報交流館

敷地内に約370種類の樹木がある、
森林環境学習の拠点。夏休み親子
木工教室、里山自然体験教室など、
さまざまなイベントに親子で参加で
きます。



【住所】香美市土佐山田町大平80
(高知駅から車で約40分)
【TEL】0887-52-0087 [FAX] 0887-52-0097
【利用時間】9:00～17:00
【休園日】月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
【HP】<https://www.k-kouryu.net/>

このプランの利用料金モデル

木工材料代(200円～400円／製作する
ものによって変わります)

【注意点】

●希望日時より、できるだけ早めにお問
あい合わせください。

●材料も工具も情報交流館で用意します。



この本は、森と生きものの関係から、森のはたらきや木を育て伐ること、それを運んで加工し、家を建てたり木の製品をつくること、木が新しいエネルギーになることなど、山に木が生えている状態から私たちの暮らしにどのように役立っているのかを、イラストを中心にして、楽しく伝えています。この本を通じて山の大切さを知ってほしい、そう願っています。

[目次]

- ① 森と生きもの 2
- ② 森のはたらき 4
- ③ 森のしごと見学 6
- ④ 山をまもる道具 8
- ⑤ 丸太をぶんかいしてみよう 10
- ⑥ 木の特ちようノート 12
- ⑦ 木の家の骨組み、特ちようを知ろう 14
- ⑧ 木は環境にやさしいエネルギー資源 16
- ⑨ 森林環境学習プログラムの紹介 18

高知県立甫喜ヶ峰森林公園

高知県立森林研修センター情報交流館

森林環境教育副読本 もりたび

2020年10月

高知県林業振興・環境部 林業環境政策課

高知県高知市丸ノ内1丁目7-52

TEL.088-821-4586

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/>

